

東海地震に関する緊急時の対応について

東海地震の発生が心配されておりますが、本校では地震発生時に以下のような対応を考えております。必ず熟読し、緊急時に対応できるようにしておいてください。

1 東海地震調査情報発表時の対応

- ・原則として授業は継続

2 東海地震注意情報発表時の対応

(1) 授業中の場合

- ・注意情報発表の報を知った時点で、すべての授業・学校行事を中止
- ・全校集会等により、その後の行動について連絡徹底した上で下校
- ・帰宅グループにより集団下校

(2) 在宅時の場合

- ・登校を見合わせ、自宅待機
- ・避難対象地区内に居住する生徒は、予知情報が発表され次第、避難場所へ避難できるよう準備
- ・他の生徒は、各家庭で耐震対策等に当たる。

(3) 登下校時の場合

- ・注意情報発表の報を知った時点ですみやかに帰宅

3 東海地震注意情報発表後、東海地震予知情報が発表されない場合

- ・「観測データの異常が東海地震に結びつかず、当分の間東海地震予知情報の発表はない」と結論された場合、又は「東海地震注意情報の解除情報が出された」場合は、原則として結果発表の翌日から平常授業の体制に復帰

4 東海地震予知情報が発表された場合

- ・生徒は自宅待機
- ・避難対象地区内に居住する生徒は自治体の勧告に従い、避難場所へ避難
- ・他の生徒も各家庭で耐震対策等に当たる。

5 東海地震予知情報発表後「東海地震予知情報解除が発表」された場合

- ・原則として発表の翌日より平常授業体制に復帰
- ・交通・通信手段の確保が困難な場合は、登校の日時について学校から連絡。それまで生徒は自宅に待機

6 大規模地震が発生した場合

(1) 在宅時の場合

- ・身の安全を確保
- ・避難対象地区内に居住する生徒は周囲の状況をよく確かめた上、避難場所へ避難

(2) 在校時の場合

- ・定められた手順で避難し、役割に従い活動する。
- ・通学路の安全が確認できた地区から集団で下校
- ・遠距離（概ね10km以上）で、利用交通機関が不通の場合、又は日没までに自宅に帰れないことが予想される場合などは、学校に待機
- ・下校する生徒は、自宅が被災し倒壊又は焼失した場合は最寄りの避難所に向かう。

(3) 登下校時の場合

- ・徒歩・自転車通学生徒は、すみやかに身の安全を確保し最寄りの避難所へ避難
- ・公共交通機関利用の生徒は、車内放送をよく聞いて、乗務員の指示に従う。
- ・落ち着いて行動し、最寄りの避難所に避難

7 避難所の確認について

- ・東海地震予知情報が発表された場合または東海地震が発生した場合に備えて、自宅周辺及び通学途中に設けられている避難場所を確認しておく。
- ・家族同士の連絡方法なども確認しておく。